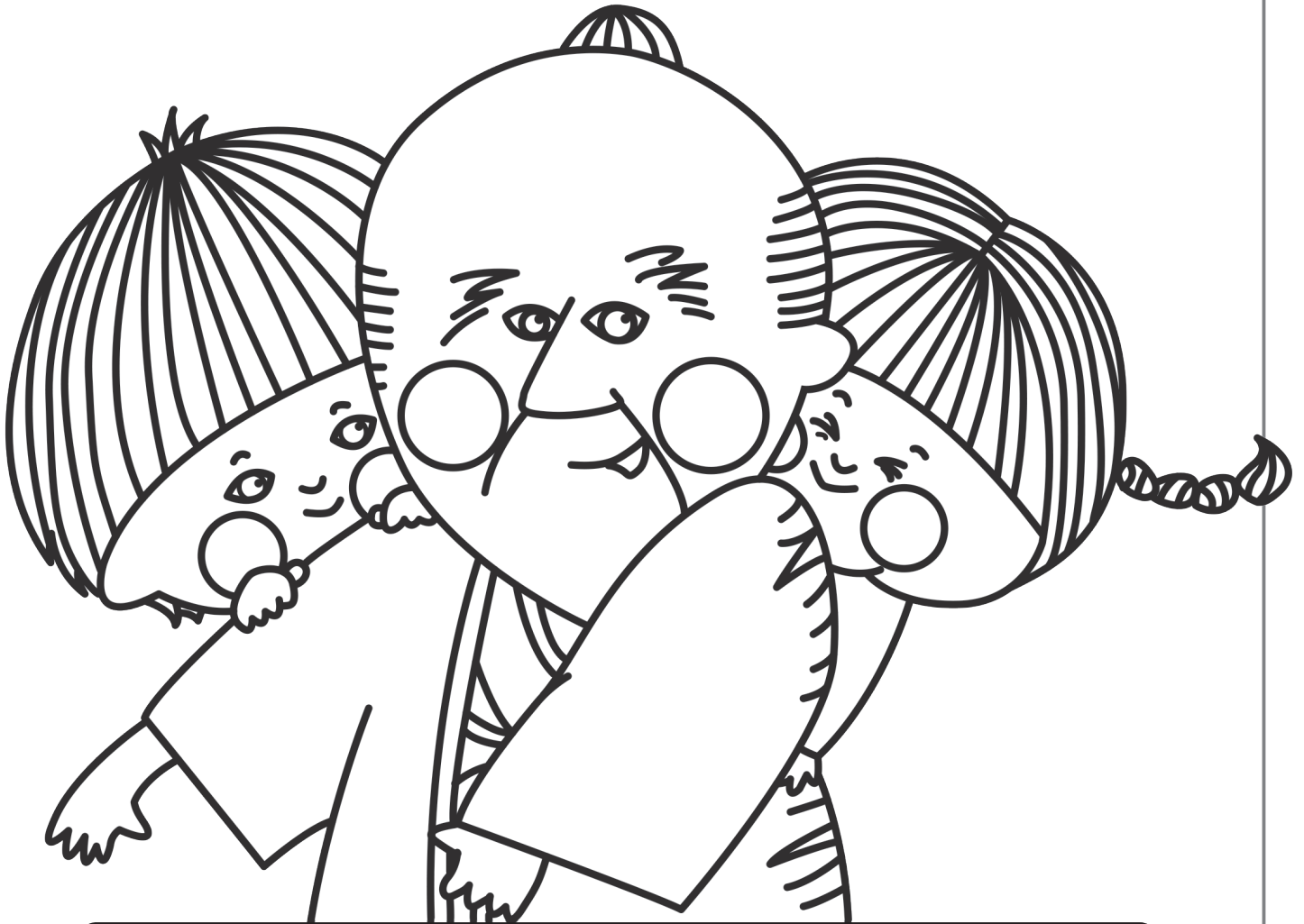


あんえいがんねん(1772)～あんせい 6ねん(1959)。いわむらはん(今の恵那市岩村町)出身の江戸時代を代表する儒学者。「少にして学べば」「社にして学べば」「老いて学べば」と、一生、学び続けることの大切さを説きました。

岐阜県
恵那市

いっさい先生



少しょうにして学まなべば、
 則すなわち壮そうにして
 為なす有あり。
 壮そうにして学まなべば、
 則すなわち老おいて衰おとろえず。
 老おいて学まなべば、
 則すなわち死しして朽くちず。

(言志晩録60条)

